

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	医療法人緑泉会 かみか企画
------	---------------

公表日 2026年3月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		弊社の延べ面積は424.60㎡と十分な広さを確保しております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		エレベーターや避難階段が設備され、段差をできる限りなくしたバリアフリーで対応。障がいの特性に配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		換気は少なくとも1時間に1回行い、活動内容に合わせた適切な環境の準備を提供できるように心掛けております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室などの個別の部屋を利用し、特性に応じた環境作りをしております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや、すべて記録に残し、情報共有できるように努めて、PDCA参画に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価を踏まえ、毎月に行っている個人面談などで、保護者等の意向把握する機会をさらに設け業務改善につなげたいと考えております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間での意思疎通に齟齬がないよう、風通しの良いコミュニケーションができるよう、さらに努力したいと考えております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は実施していないが、今後必要に応じて実施の検討をしたいと考えております。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や内部研修に関しては、積極的に参加し、その習得した内容をスタッフ間で共有し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		弊社のホームページ、SNSなどで周知、公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントシートに記入したお子さまの様子をAI分析した診断結果と日々の関わりを通じてスタッフが感じた課題をもとに適切に作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画会議をメインに常に利用児童の情報は共通。共有理解して、検討、精査しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画会議をメインに常に利用児童の情報は共通。共有理解して、検討、精査し、支援の実践を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域の分野でAI分析した診断結果と日々の関わりを通じ感じた課題などで状況の把握・確認をおこなっております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		年度初めに「ガイドライン」の確認を行い、モニタリング実施ごとに課題や目標を再確認し、一人ひとりに合わせた支援内容を設定し、職員間でも必ず情報共有し、共有した支援を行っております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で検討しながら活動計画を立て実施しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の発達段階や課題、ニーズに合わせた療育内容を実施するとともに、外部研修等に参加し、資質向上に努めております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を得意としているが、児童の特性や必要に応じて小集団の活動を実施しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ず実施しております。児童へのより良い療育ができるように情報共有をチームで行っております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ず実施しております。児童へのより良い療育ができるように情報共有をチームで行っております。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		口頭だけの情報共有だけでなく、必ず記録に残し、支援の振り返りを行っています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度以上のモニタリングを実施し、必要に応じて関係機関との連携会議や面談にて支援の検討を行い、見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		月1回の制作やクッキング、長期休みの外出を通じ、季節感や社会ルールを学べる機会を設け、一人ひとりのペースに合わせ、無理なく参加できるよう配慮しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		定例会議以外にも、送迎時など情報共有など、積極的に連携支援を行っております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		密に児童の情報共有や会議を実施しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定例会議以外にも、送迎時の情報共有など、積極的に連携支援を行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		現在該当する児童の在籍がないが、以前は学校のホームページなどを随時観覧し情報収集に努め、連絡調整を適切に行っておりました。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご家庭の希望により、サポートブックを作成し移行支援を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在該当する児童の在籍がないが、今後の検討課題と致します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後の検討課題であります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○		「かみかまつり」の実施を通じ他児童所や地域の児童との交流の機会も持っています。		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り参加しています。		
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ツールを使用し、療育方針や様子などと伝えるとともにご家庭での様子なども教えてもらっています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後行っていきます。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时、ご契約時、パンフレットにて説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前に児童、保護者の意向を聞き、作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の案を面談で確認し再度要望を聞き、児童発達支援計画に同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個人面談の個人面談の機会を設け、相談の助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			検討し実施に向け、準備を進めています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		誠心誠意、迅速かつ適切に対応している。今後もさらに児童や保護者の為にきめ細やかな対応を心掛けます。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		連絡ツール、リタリコブログやSNS、ホームページにて、日々の活動を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫への保管を義務つけています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人ひとりに意思疎通できる方法、伝わりやすい方法を考慮しています。また、契約書なども、拡大文字版やルビ付きなど可能な限り行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		「かみかまつり」の実施を通じ、他児童所や地域の児童との交流の機会を持ち、開かれた事業所運営を行っております。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを完備し、児童ロッカー台の上に備えています。また、避難訓練などアクシデント発生を想定した訓練を年2回以上実施しております。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		いずれのマニュアルを完備し、児童ロッカー台の上に備えています。また、避難訓練などアクシデント発生を想定した訓練を年2回以上実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にフェイスシートにて、児童の様々な状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、該当する児童がいないが、医師や看護師を配置しており対応する体制は整っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員間での研修・訓練は、月に1度必ず実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		送迎時には必ず添乗スタッフが同乗し、安全確保に努めています。また、教室内でも防犯カメラを設置し、児童が安全に過ごせるよう配慮しているがさらに保護者への周知を徹底したいと思います。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細なことも記録に残し、今後の課題にし、再発防止の検討をしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法定内研修のほか、内外研修にも参加し、内容を職員間で共有しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が起きない療育プログラムを心掛け実施しております。保護者には契約時に身体拘束や虐待防止等について説明しているがさらに組織的対応についても精査したいと思います。	